

広報 うけん

Public relations magazine of village Uken

VOL.318
2016 Jan. 1

あけまして
おめでとうございます！

阿室保育所 もちつき大会
平成27年12月12日(土)

みんなでおこ みんなで興す、心豊かな宇検村の未来

新年あけましておめでとう
ございます。

輝かしい平成28年の新春を
迎えるにあたり謹んでご挨拶
を申し上げます。

旧年中は、村政運営に多大
なご支援ご協力を賜り、衷心
より厚くお礼を申し上げます。

昨年の年明け早々の村長選
挙では、村民の皆様の温かい
ご理解のもと、2期目を無投
票で当選させて頂き、心より
感謝いたします。

「公正・公平で透明性のある
村政運営」を理念とし、「みん
なで興す、心豊かな宇検村の
未来」の実現のため、誠心誠意、
村政に頑張つてまいります。

さて、現在、我が国が直面

する人口減少・超高齢化社会
への対応として「まち・ひと・

しごと創生法」が施行され、国、
都道府県、市町村が一体とな
り、それぞれの特徴を活かし

た自律的で持続的な社会の創
生をめざし取り組んでいます。

本村におきましても、昨年
5月11日に推進本部を発足さ
せると共に、奄美大島5市町
村と共同で「奄美大島総合戦
略推進本部」を設立し、人口
ビジョン・総合戦略の策定に
全力で取り組んでおります。

村民の皆様と共に知恵を出し
合い、足元にある資源を見直
し、工夫しながら地域振興に
努めて参ります。

また、奄美・琉球の世界自

然遺産登録に向けて湯湾岳を
中心とする奄美の貴重な自然

を活かした新たな観光の振興
に取り組んで参る所存であり
ます。

昨年、果樹や果菜類の害虫
ミカンコミバエが奄美大島に

再侵入し、植物防疫法に基づ
く緊急防除による移動規制が
実施されている問題は、宇検
村のみならず奄美大島全体に
深刻な影響をもたらしていま
す。現在、テックス板（誘殺
板）、誘殺トラップの増設など

を行うと同時に、果樹の集荷、
廃棄を全力で行っていること
ろであります。引き続き、早
期根絶に向け、役場全体でしっ

かりと取り組んで参ります。

親ふじから受け継いだこの
素晴らしい宇検村を更に住み

やすい村にするために、常に
村の将来を見据えながら、議
会や村民の皆様方のご理解と

ご協力を頂きながら村政に邁
進していく所存です。

最後になります。村民の
皆様方のご健勝とご多幸をご
記念申し上げます、新年の挨拶と
致します。



宇検村長

元田信有

行政とともに一丸となり取り組む

新年あけましておめでとう
ございます。

村民の皆様方におかれましては、希望に満ちた平成28年の新春を晴れやかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。年頭に当たり、宇検村議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、村民の議会活動に対する、深いご理解と、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。ございました。

さて、宇検村では、1986年に根絶が達成されていたミカンコミバエが9月以降、奄美大島で確認され、柑橘類等の島外への出荷を禁止する移

動規制が実施されました。移動規制の対象植物がポンカン、

タンカン、スモモ、マンゴー、パッションフルーツ等の果樹類全般。また、トマト、ピーマンなどの野菜類全般と村民にも激震が走りました。現在、防除対策強化として、ヘリコプターによるテックス板の散布などで防除をおこなっており、廃棄処分も進んでいます。が、一次産業が停滞すると宇検村の活性化も図れません。早期に移動規制解除ができるよう行政とともに一丸となり取り組んでいきます。

国において、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけることも

に、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、

将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生法が4月1日から施行されます。

宇検村においても、3月には宇検村総合戦略策定がされます。議会の役割は、予算案などの議決のみでなく、行政への監視・政策を提案しながらも、村民の皆様の声を行政に反映させなければなりません。人口減少に歯止めをかけるため、地域の特性に即した問題の解決をはかり、有用な人材の確保・育成・結婚出産・子育ての支援をおこない、雇

用の質・量の確保のため努力をして参りたいと考えております。

結びに、新しい年が村民の皆様にとりまして、実りある飛躍の年となりますことを心より祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



宇検村議会議長

喜島孝行



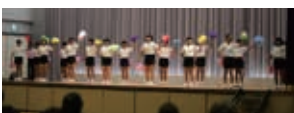
第 30 回国民文化祭・かごしま 2015 in 宇検村 やけうちの文化と音楽の祭典

第30回国民文化祭かごしま2015 in 宇検村やけうちの文化と音楽の祭典が、11月14日(土)、15日(日)の2日間にわたり、宇検村総合体育館にて開催されました。14日(土)は、俳優の榎木孝明氏が「ふる里 鹿兒島・未来を見つめて」と題して、講演を行いました。午後からは、島唄や芦検稲すり踊り、須古鎌踊りなどの舞台発表が行われ、村内外から訪れた大勢の来場者を楽しませました。また、会場には宇検村フォトコンテストや公民館講座の作品などが展示されました。



多彩な舞台発表

会場全体を魅了！！



2 日目は、宇検村観光大使のシンガソングライター石野田奈津代さんによる記念ライブで幕開け。村内の児童生徒と一緒に作った歌を披露しました。その後、田検中学校が相撲体操などを阿室小中学校がハンドベルなどを披露したほか、大島高校の吹奏楽部や、奄美高校の郷土芸能部などのパフォーマンスがあり、会場全体を魅了しました。

ま くさんむんグランプリ（宇検村連合青年団主催）も同時開催されました。井ぶり部門とスイーツ部門に選出された各3品を食べくらべ、投票によりグランプリを決定しました。地元食材を使ったオリジナル料理を味わおうと開始時間前から、長蛇の列ができました。グランプリには、「湯湾岳井」と「マンゴーパウンドケーキ」が輝きました。



左: チーム力を発揮。(メディシンリレー)
右: 慎重に狙って! (輪投げ)



3人4脚アンカー3名(50代)の力走! 逃げ切ってゴール!



頑張れー!! 応援にも熱が入ります。

たくさんの保育園児も、力いっぱい走ってくれました。



見事優勝に輝いた芦検チーム



最後に逆転! (ムカデ競走)

第60回宇検村民体育大会 46の種目で真剣勝負 全力を出し切る!

各部門の上位3チーム

	順位	集落	得点	順位	集落	得点
総合	1	芦検	175.0	1	芦検	88.0
	2	須古	125.0	2	湯湾	63.0
	3	湯湾	124.0	3	名柄佐念	58.0
男子	1	芦検	109.0	1	崎原	14.0
	2	湯湾	77.5	2	須古	13.0
	3	須古	76.0	3	芦検	12.0
女子	1	芦検	66.0	3	部連	12.0
	2	名柄佐念	51.5			
	3	須古	49.0			

※レク=レクリエーションの部
※ロード=ロードレースの部

第60回宇検村民体育大会が10月11日(日)に村陸上競技場において、盛大に行われました。大会当日は、開会式直後に大雨が降りプログラムを一時中断しましたが、天候の回復を待って続行。村内14集落10チームが46の種目で熱戦を繰り広げました。応援席からは多くの熱い声援が送られました。成績は芦検が総合優勝を果たし、2位須古、3位湯湾の結果となりました。

表彰者の紹介 (敬称略)

◎優秀スポーツ選手賞

【団体】 田検中男子バレーボール部・宇検村ゲートボールチーム

【個人】 三角 典弘・藤原 尚斗 (第69回県体・第56回大島地区大会 水泳競技) 第1位

栄 晃大 (平成27年度鹿児島県高等学校総合体育大会 バレーボール競技 鹿児島城西高校) 優勝

伊元 幸正・柳 俊輔 (第69回国民体育大会 バレーボール競技 少年男子 鹿児島県) 準優勝

【伝達表彰】 ※奄体協より

津田 大地・柳 俊輔・柳 泰雅 (第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会鹿児島大会・鹿児島商業高校) 優勝

栄 晃大 (平成27年度鹿児島県高等学校総合体育大会 バレーボール競技 鹿児島城西高校) 優勝

※平均正答率とは、児童生徒の正答数の平均を設問数で割った値の百分率。

■ 教科に関する調査の結果『平均正答率 (%)』

科目	区分	宇検村	鹿児島県	全国	
小学校	国語	A「知識」	77.6	68.4	70.0
		B「活用」	75.6	65.8	65.4
	算数	A「知識」	84.2	75.9	75.2
		B「活用」	48.7	42.5	45.0
理科		67.8	63.4	60.8	
中学校	国語	A「知識」	83.7	73.3	75.8
		B「活用」	74.9	64.1	65.8
	数学	A「知識」	82.0	61.7	64.4
		B「活用」	59.6	39.4	41.6
理科		70.7	51.9	53.0	



研究授業 (名柄小中学校)

■ 生活習慣や学習環境等に関する調査の結果 (一部抜粋)

	全国平均や県平均と比較して、望ましい傾向にある調査項目	全国平均や県平均と比較して、改善の必要がある調査項目
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の話や意見を最後まで聞くことができる。 ○1日当たり30分以上の読書をしている。 ○学校での出来事について、家の人によく話す。 ○地域の行事に積極的に参加している。 ○話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○400字詰め原稿用紙に2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思っている。 ○自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思っている。 ○テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る児童が平均と比較すると少ない。(反対に新聞をよく見ている。) ○将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思う子は、少ない。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の授業の予習をしている。 ○学校での出来事について、家の人によく話す。 ○地域の行事に積極的に参加している。 ○わからないことがあったら、友達にたずねることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平日のテレビ視聴・ゲームの時間が多い。2~3時間が4割近くいる。 ○学校図書室の利用で、年に数回しか行かない生徒の割合が高い。(しかし読書好きは多い) ○将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思う子は、少ない。



全国学力・学習状況調査の結果 全国の平均を上回る 小学6年と中学3年を対象

教育委員会・学校での取り組み

- 1 各学校や村全体の分析をもとにして研修を深め、指導方法の改善に努めます。
- 2 個に応じた指導を徹底し、「基礎・基本」を確実に定着させるとともに、補充・発展問題に取り組み、活用力を伸ばします。
- 3 集合学習や小中連携、教科書や各種教材等の有効活用を図り、より質の高い授業づくりに努めます。
- 4 「学びの羅針盤」「大島の教育」を活用し、教師一人一人の授業力向上を目指します。
- 5 記録・論述・討論・批評などの言語活動の充実を図り、活用する力を身に付けるよう授業の改善に努めます。

今 今年4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。その結果が8月に発表されました。

まず、教科に関する調査では、小学6年生・中学3年生が全国平均を上回る結果となりました。

次に、生活習慣や学習環境等に関する調査では、村内の小・中学生は、全国や県と比べ、自分のよさに気づき、将来の夢や目標に向かって頑張っている児童生徒が多くいることが分かりました。

また、小・中学生ともに地域の行事に積極的に参加しており、テレビ視聴やゲームの時間に改善が見られてきました。

今後の改善として、論理的に文章を書いたり話したりするためにニュースや新聞に触れる機会を増やしていくことが大切であると分かりました。

この調査結果は学力のすべてを表すものではありません。学校・家庭・行政がこれまで以上に連携しながら児童生徒の学力向上に向けた取組を継続していく必要があります。